

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈11月末現在〉

農業▷10人 教育魅力化▷3人
起業型▷10人 協働型▷9人

農業支援員

たかもと ゆきまさ
高本 幸将さん

着任：令和6年4月（1年目）
出身：名寄市



—これまでどのような経験を積んできましたか？

高校時代に友人たちとロックバンドを結成してドラムを担当していました。高校を卒業後、メジャーデビューの夢を追いかけて上京しました。東京での約4年間は、アルバイトをしながらライブ活動に励んでいましたが、厳しい現実と直面。仕方なく夢をあきらめ北海道に戻りました。職業訓練学校で簿記を学び、日商簿記二級検定を受けて合格。職業訓練学校で簿記の講師を半年間務めたあと税理士事務所で9年間働き、その後、酪農機器の輸入商社で約3年間財務経理を担当しました。

—農家になろうと思ったきっかけは？

恵庭市にある妻の実家は以前、義理の祖父が農業を営んでいました。家族で遊びに行った時に農作業に触れる機会がたくさんあり、子どもたちと一緒に農作業をして育てた作物を収穫しておいしく食べるという経験がとても楽しく、農業を仕事にできたらいいなと思うようにな

りました。今後、子どもたちが食べるものに困らないために自分たちで食料を作れるようになりたいし、非常時のために備蓄しておけるようになりたいと考えています。

—なぜ厚真町で新規就農を？

新規就農の情報収集のために、新規就農フェアに参加しました。厚真町のブースで説明を聞いた際の親切的な対応が印象的で、生産する作物に自由度がありそうだったので厚真町で就農したいと思いました。現在は、町内の研修農場でほうれん草、カボチャ、ブロッコリーなどの育成、ビニールハウスの管理方法などについて学んでいます。農業機械の使い方や作物の育て方が学べるのでとても楽しいです。

—将来はどんな農家を目指しますか？

農作物の成長の変化を見ながら育てることが好きなので、育成期間が長く、じっくり育てて収穫する農作物を生産していきたいです。メロン、さつまいも、アスパラガスの生産を学び、まずは農業で生計を立てられるようになることが目標です。その後、自動収穫機を導入するなど、農業のIT化を目指せたらいいなと思っています。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報はじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



発表します！
将来の夢

もりさき りん
森崎 凜さん

きくち けいと
菊地 恵叶さん

上厚真小学校6年

和太鼓奏者

コンビニの店員さん

トリマー

林業

看護師

ながお こあ
長尾 幸愛さん

ささき ふうが
佐々木 颯雅さん

こばやし はると
小林 陽人さん